

北海商科大学

Vol.
04

学報

2008.4.1



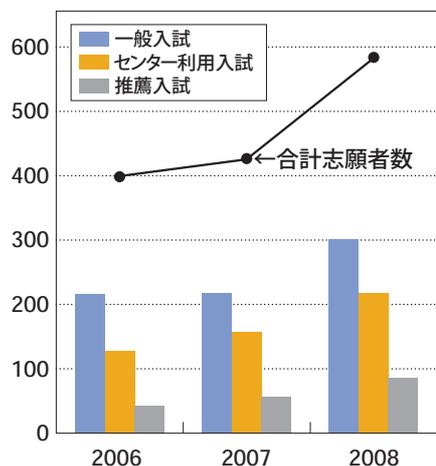
[2007年度 海外語学留学プログラムを修了] 中・韓から本学学生49名が帰国しました

2008年2月2日、交流協定を結ぶ中国の煙台大学、山東大学威海分校、韓国の大田大学校での2007年度海外語学留学プログラムを修了した本学学生49名が、将来の糧となる貴重な経験と手応えを胸に帰国しました。およそ5ヵ月ぶりに日本の地を踏むうれしさに、思わず笑みがこぼれます。

平成20年度入試概要

少子化が進むなか順調な伸びを示した志願者

志願者数の推移



2008年2月13日、本学の平成20年度一般入学試験が実施されました。北海商科大学として札幌キャンパスに開学して3回目の入学試験になります。

18歳人口が大幅に減少し続ける、いわゆる少子化現象が進行し、多くの大学では志願者の減少に歯止めがかからない中で、本学の今年度の志願者数は大幅に増加する結果になりました。

商学科と観光産業学科の合計定員150名に対して、一般試験やセンター試験など各試験方式に対する志願者の合計が昨年度は427名だったのに対し、今年度の志願者は583名となり、36.5パーセントの増加となりました。その結果、志願者倍率は昨年度の2.8倍に対して今年度は3.9倍と大幅に高くなり、北海商科大の評価がうかがえる結果になりました。

一昨年度の2006年度志願者数が397名、昨年



2月13日に実施された一般入試の様子

度が427名と緩やかな伸びであったのに対し、今年度はさらなる増加となりました。これは、開学して3年目となり、北海商科大学の特色ある教育内容などが、高校生や父兄、高校の教職員に広く浸透してきた成果と考えることができます。

志願者の増加に伴い、合格倍率の上昇および合格ラインの上昇も認められ、学外からも高いことで注目されていた本学志願者の学力レベルが、さらに高まっている傾向がうかがえます。こうした志願者の期待に応えるために、これからも本学は特徴ある教育と充実したキャンパスライフの場を提供できるように努力を継続しなければなりません。

土曜公開講座(後期)『日中ビジネスのダイナミズム』を開催

2007年11月3日から12月1日までの毎週土曜5回にわたり、土曜公開講座(後期)「日中ビジネスのダイナミズム」が開催されました。本講座は中国社会科学院北海道研究交流センター開設を記念して催されたもので、本年度春の前期講座に続くものです。講師には、HINAS、北海商科大学の研究者に加え、中国ビジネス界の第一線で活躍されている企業経営者など多彩なゲストをお招きし、受講者の皆さんとの活発な議論が展開されました。



11月17日、チンギス・ハン陵観光区の開発事例について講演する「東聯集団」総裁の侯鈺鈺氏

平成19年度卒業証書・学位記授与式挙行 北見キャンパス最後の卒業式

2008年3月16日、北見キャンパス国際会議場において平成19年度卒業式が、ご父母や神田孝次北見市長らの来賓をお迎えして挙行されました。今回の式が、北見キャンパスで行われる最後の卒業式となりました。式では、森本正夫学長より卒業生一人ひとりの名前が

読み上げられ、卒業証書・学位記が手渡されました。続いて、教員免許状の授与、成績優秀者の表彰などが執り行われました。

在学中卒業生達は、本学の前身北海学園北見大学が北海商科大学として移転し再出発するに伴い、各自の希望に沿って北見キャンパスと札幌キャンパスとに分かれて学んできました。そして今回、揃って北見キャンパスから北海商科大学の卒業生として旅立ちました。

なお、北見キャンパスは、今後とも北海商科大学のゼミ合宿や研修施設として活用されます。



森本学長より卒業証書を受取る卒業生

『商科発～アジア経由～世界行』

第2回北海商科祭を開催

2007年9月29日、第2回北海商科祭が『商科発～アジア経由～世界行』をテーマに開催されました。昨年から大きく規模を拡大し、学生を含むおよそ400名が来場しました。

今回からメイン会場となった校舎裏手には野外ステージが設置され、40cmホ

ットドッグの早食い大会、本学軽音部によるライブなど、多数のイベントが行われました。特に人気を集めたYOSAKOIソーラン演舞では、北海学園大学のチーム『粋～IKI～ 北海学園&ほくせんカー



ステージ企画で40cmのホットドッグをほおぼる参加者



模擬店では8サークルが売れ行きを競いました

ド』をはじめとした6チームの迫力ある踊りに、大きな拍手が送られました。模擬店はサークルによる8店が焼き鳥や豚丼、チヂミなどで来場者を楽しませたほか、本学と交流協定を結ぶ栗山町の物産店も好評でした。

実行委員長の宮本敬史くん(商学科3年)は「来場したみなさんに楽しんでいただけたようです。北海学園大学の大学祭実行委員会とも連携しながら、来年はさらに充実させたいです」と話します。

充実した交換留学をふりかえって

交換留学生修了式

2008年2月20日、本学との間で交換留学プログラムを実施している教育学術研究交流協定校である煙台大学王吉法副学長をお招きして、協定校からの留学生の修了式が行われました。今回修了したのは、中国煙台大学の4名、同じく中国の山東大学4名、韓国の大田大学の7名です。修了証書の授与にあたっては、一人ひとり森本正夫学長との記念撮影が行われ、留学生の感激もひとしおでした。続いて、煙台大学からは鄭仙女さん、山東大学は趙鳳蕾さん、大田大学校は朴正憚くんが、それぞれの大学の留学生を代表して思い出深い一年間をふりかえり謝辞を述べました。

また式典では、協定校へ派遣されてい



1年間の思いを込めて謝辞を読み上げます

た本学からの留学生による外国語での帰国報告も行われ、留学を通しての成長ぶりがいかに発揮されていました。

式典の後は、地下自由学習コーナーにおいて留学生交流会が開かれました。余興も飛び出して、今年度の交換留学プログラムの締めくりにふさわしい賑やかな会となりました。

『国際観光コンベンションフォーラム2008』開催

2008年2月26日と27日、本学を会場に、札幌市および森本正夫学長が理事を務める(財)札幌国際プラザ、NPOなどが主催する「国際観光コンベンションフォーラム2008」が開催されました。北海道大学の石森秀三教授が大会長、本学西川博史学部長が副大会長を務めるこのフォーラムには、細野昌和准教授がコーディネーターとして参加しました。会には著名なコンベンションの第一人者が全国から集結し、都市マーケティングや地方に立脚した国際コンベンションのあり方などについて熱い議論が展開されました。このフォーラム自体が全国コンベンションであり、本学が日本のコンベンションを担う参加者間の重要な情報交換の場となりました。



栗山町公開講座

『地域資源を活かした交流事業』を開催

2007年12月8日、栗山町カルチャープラザ『Eki』において、本学と栗山町との地域交流協定にもつぎ、公開講座「地域資源を活かした交流事業」が開催されました。本学からは講師として西川博史、蘇林、加藤由紀子が、またコメンテーターとして川端俊一郎、伊藤昭男、水野俊平の6名の教員が参加しました。町民や近隣町村の皆さんが多数参加され、地域交流の議論に対して熱心に耳を傾けていました。



入ろう、創ろう、広げよう

12サークルが活動中 サークル活動春満開!!

2008年度、開学から3年目の春を迎え、サークル活動はますます活気づいています。2008年2月現在、文化系、体育系合わせて12のサークルが精力的に活動中です。新たなサークル設立の動きも予定され、新学期からは文化・スポーツ両面でサークル活動の花が開きそうです。

大学のサークルは、生涯の友人と出会い、大学生活を意義深いものにする貴重な場です。2006年の開学初年度から2年間で、本学豊平6・6キャンパスには12サークルが誕生し、160名を超える学生が参加しています。またサークル以外の課外活動団体として、北海商科祭実行委員会、体育祭実行委員会が学内や地域との交流をすすめています。

本学のサークル活動を束ねる『サークル連合』はサークルの代表者で構成され、主に活動の指導と支援、広報、関係資料の作成や管理、補助金に関わる

業務などを行い、サークルを取りまとめています。

佐藤広大くん(商学科4年)は中国語サークル ファンファンシーシーの代表で、2007年度のサークル連合代表を務めました。

「本学のサークル活動はまだ始まったばかりです。サークル同士の距離が近づく、どんどん主体的な提案が生まれてくれればと思います。大学祭や体育祭など学生主体のイベントは、学生の提案が大学生活を活気づけている良い例です。連合も今以上に体制を整備して、自分た



サークル連合の会議で話す佐藤くん

ちで大学生活をつくるという実感を、もっと多くの学生に共有してもらいたいです」と佐藤くん。北海商科大学の伝統をつくる学生の精力的な活動に期待が寄せられます。



建設が進む課外活動棟には、サークル活動スペースも設置される予定です

サークル立ち上げ体験談 1

サークルで広がる交流の輪

ツーリズム研究会代表
藁谷恵さん(観光産業学科3年)

『ツーリズム』はイタリア語で旅行という意味で、「旅行について楽しみながら学ぶ」をコンセプトに2007年4月から活動しています。サークルづくりは、観光産業で働きたいという仲間とメンバーを集めることから始まりました。1階の掲示板にポスターを貼ったり、ビラを配って勧誘もしましたよ。大きな声を出せば、興味を持ってくれました。現在のメンバーは17名です。サークルを始めてから学内で挨拶や会話を交わすことが多くなり、下級生とは気軽に冗談を言い合う仲の良さです。

昨年度は、親睦も兼ねた近場のバス



ツーリズム研究会の面々

ツアー、交通手段の違いを調べるためにJRと車のグループに分かれて小樽までキャンプにも行きました。12月には、先生に教えてもらいながらみんなで勉強して、観光地理検定に挑戦しましたね。そのほか大学祭で模擬店を出したり、もちろんみんなで遊びに行ったりもします。ゆくゆくは、ツアーコンダクターの業務を学ぶ団体旅行や、国内旅行業務取扱責任者の資格に向けた学習会なども実施したいです。

サークル立ち上げ体験談 2

1人で走れない距離も仲間となら

陸上競技部代表
佐野浩司くん(商学科2年)

中学、高校と陸上部で活動し、大学でも陸上を続けるつもりでいました。入学当時、まだ本学に部がなかったため、北海学園大学の陸上部で練習を始めました。そこで同じく本学から参加していた今の部員と意気投合し、入学から1ヵ月でサークルを立ち上げたんです。現在の部員は3名で、昨年度は北海学園大学陸上部での練習を続けさせてもらいながら、北海商科大学陸上部として北海道インカレ、北海道学生陸上競技選手権大会などに出場することができました。

個人競技の陸上は孤独なスポーツだと思います。でも練習で走るときには不

2008 豊平6・6キャンパス サークル一覧

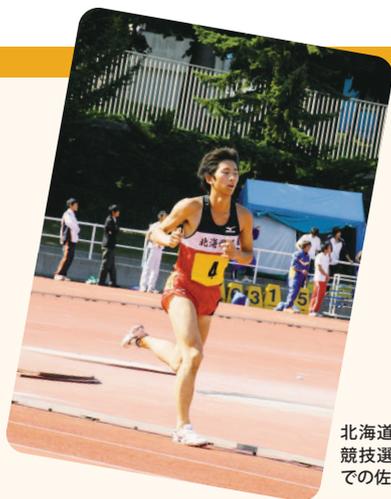
体育系

- サッカー部 (藤岡大輝・商学科3年)
- 女子ラクロス部 (花井幸子・商学科3年)
- テニス部 (田中美香・観光産業学科3年)
- バスケットボール部 (小島侑也・商学科2年)
- 野球部 (金元宏訓・商学科3年)
- 陸上競技部 (佐野浩司・商学科2年)

文化系

- 映像部 (新海裕晃・商学科3年)
- 韓国語サークル (富塚潮里・観光産業学科3年)
- 教育研究会 (村上護・商学科4年)
- 軽音部 HAZION (古館慧一・観光産業学科3年)
- 中国語サークル ファンファンシーシー (佐藤広大・商学科4年)
- ツーリズム研究会 (藁谷恵・観光産業学科3年)

※掲載は五十音順
() 内は学生代表者氏名



北海道学生陸上
競技選手権大会
での佐野くん

思議に一体感があり、そのおかげで1人では走れない距離も仲間と一緒に走ることができます。レースは走者との競い合いでありながら、自分の記録との戦いでもあるため、試合に負けても“勝つ”ことができるんですよ。陸上は誰にでも始めることができ、続けていけるスポーツだと思います。メンバーを集めて、花形種目のリレーに出場するのが目標です。

就職対策ホットライン

Hot line of Recruitment

北海商科大学と北海学園大学 共用の就職支援システム

北海商科大学と北海学園大学は共用の「就職支援システム」を整備し、両大学の学生が共通で利用できるようになりました。

これにより学生は、就職希望地域や職種、業種などに応じた求人情報を大学や自宅などからリアルタイムで取り出せます。また、企業の求人状況の変化、先輩達がどのような企業に就職しているのかなども事前に研究できるようになります。

年度初めには各学年に対応した「就職ガイダンス」を実施しています。特に3年生に対しては、北海学園大学と同時開催の業界研究会や月々実施の全体ガイダンス、個別面接などを通して、きめ細かな学生対応を行います。

■2007年度は次のとおり就職ガイダンスを実施しました。本年度もさらに充実して実施します。

- 4月 就職活動のアウトラインと就職の心構え
- 5月 就職活動の取り組み方
- 6月 自己分析、適性検査の実施
- 7月 履歴書の書き方と記載内容のポイント整理
- 9月 エントリーシートの書き方と自己PRのポイント
- 10月 面接の対応と準備のポイント
- 11月 個別面談と集団面談の対応とポイント
- 12月 進路調査票の配布と就職進路相談
- 1月 進路個別相談 企業説明会の案内
- 2月 学内業界研究会

就活は早まった!

就職部長 中島茂幸

「3年生はただちに就職活動に向けて準備をして下さい!」

2010年3月に卒業する、この春の3年生に対する求人活動は、今年の年末から始まります。2009年春休み頃には本格的な企業説明会や業界研究会が開催されます。

毎月体系的に実施される「就職ガイダンス」で就職活動の概要を知り、各自の体制作りに役立ててください。相談・指導には、就職委員が個別に

当たっています。遠慮なく相談してください。

■就活に必要な準備事項は次のようなことです。

- ① 自分を知ること。過去から現在までの人的関係や思い出を棚卸しする。
- ② 1分間で自己PRできること。自分を的確に表現し自己を売りに出す。
- ③ 自己PRすべき中身があること。日頃からの何か一つ研鑽し売りの材料を作っておく。



2月に本学で行われた業界研究会の様子

実を結び始めた語学教育の取り組み

語学に力を入れている本学では、1年次から英会話、中国語、韓国語のいずれかを必修科目として、集中的な語学教育を行っています。

札幌開学から2年を経過し、語学コンクール入賞などの形で

本学の語学教育の成果が目に見えて現れてきました。

昨年度行われた語学コンクールの入賞者などに、感想を聞きました。



漢語水平考試(HSK)で 5級取得

三瓶司眞くん(商学科3年)

1年次に山東大学威海分校に半年間留学した際、現地に親しい友人ができました。これを契機に中国語への思いが深くなり、今では趣味と言えるほど中国語が好きになりました。普段聴くのは中国語の歌で、空いた時間はできるだけ中国からの留学生と交流しようと努めています。昨年9月30日に行われた『札幌・瀋陽友好都市提携記念第25回中国語暗唱朗読大会』では第3位を受賞し、続く10月のHSKで『1年間の留学で得られる優秀な成績』に値する5級を取得しました。もっと上達して、威海の友人と流暢に会話を交わしたいですね。



第9回北海道 韓国語弁論大会で 第3位の銀賞を受賞

藤嶋悠太くん(観光産業学科3年)

もともと国際交流への関心が強く、9月20日に出場した北海道韓国語弁論大会でも、1年次の交換留学プログラムで出会った人たちとの交流についてスピーチしました。また9月には、国土交通省が行った観光政策の日韓学生交流研修に参加し、大きな経験を得ました。将来は語学力を高めて、韓国の航空会社で働くことが理想です。韓国語能力試験や「ハングル」能力検定試験を取得して夢に近づいていきたいです。

2007年度全日本中国語 スピーチコンテスト 北海道大会で第3位を受賞

村井祐輔くん(商学科2年)

アジアでビジネスを展開したいという思いがあり、それには中国語が役立つと思って勉強を始めました。やるからにはしっかり身につけたいです。10月21日に出場したスピーチコンテストでは、感動した映画の内容を引用しながら、あきらめずに中国語を学ぼうと話しました。語学の資格と合わせて商学に関わる資格も取得し、両方を生かせる仕事ができればと思います。中国人の学習意欲の高さにならってがんばります。



学習意欲と自主学習の維持、促進が課題

本学の語学教育体制では、1年次で基礎と日常会話の習得、2年次が語学能力検定に向けた対策と会話・ヒアリングの向上、3年次で就職を意識した作文能力やディベート力の強化と、各年次ごとに学習目標を定めています。

こうした取り組みの成果が各種語学能力検定やスピーチコンテストの結果となって現れています。さらに本学では、学習意欲と自主学習の維持、促進のため、補講体制や図書館における学習資料の充実などのフォローアップが検討されています。



はつらつ 商科大生

大田大学校 2007年度 海外語学留学生
禹宅奎(ウ・テッキョ)くん



日本の伝統・文化をもっと知りたい

韓国の大田大学校で3年間を過ごした禹宅奎(ウ・テッキョ)くんは、キャンパスライフの最後の1年を本学の留学生として過ごしました。留学を志望した理由や本学でのキャンパスライフ、1年間で感じたことについて話を聞きました。

—留学を志望した理由を教えてください

大田大学校では外国語文学部日語日文学科で学び、2年次になってから本格的に日本語にふれました。熊本から大田大学校に留学してきた日本人学生と親しくなったことが、日本語と日本文化に強い興味を持つひとつのきっかけでした。

—留学生活はどうでしたか

大学の韓国語サークル、よさこいソーラ

ン、札幌市のまちづくり関連事業など、多くのことに関わることができました。また、1年間で5回の国内旅行をして、青森、熊本、東京、京都、函館を見て回りました。札幌は自由な雰囲気でもみんな親切でしたよ。

—日本のどこに興味を感じますか

日本固有の文化や国民性、伝統的な面にはとてもひかれます。韓国で見た日本のドラマで興味を持ち、札幌に来た昨

年7月頃から『能』の稽古に通っています。

年7月頃から『能』の稽古に通っています。

—どのような稽古をするのでしょうか

市内にある喜多流哲生会の奥田康二先生について、週1回、謡(うたい)と仕舞(しまい)の稽古をしていました。型を

—日本で新しい発見はありましたか

長い伝統をもつ能には、室町時代の考え方が息づいている気がしますし、目上の人を大切にするという意識は日本と韓国で共通しているように思います。また、日本にも意欲的に韓国の文化を学ぶ人がいることを知り感激しました。将来は、日本と韓国をつなぐような仕事につきたいですね。日本語を学習し、留学先に札幌、そしてこの大学を選んで本当によかったと感じています。



奥田先生と舞の稽古をする禹くん(右)

ゼミ訪問

田辺隆司 教授 観光研究ゼミナール | (観光産業学科2年 第4 Semester 開講)



2007年度の田辺ゼミでは、学生8名が観光旅行のプランニングを学んでいます。最初に、何通りかの旅行者のニーズとプロフィールを設定して、各々がインターネットによる検索及び配付資料や時刻表から、条件を満たす路線、滞在地、観光スポットを探します。次に、旅行プラン

ンを作成してプレゼンテーションを行い、各自の企画について意見を交換し再検討の後、最適のプランにまとめるのです。

「ゼミでは、自分が観光客になった気分鉄道旅行を計画し、その魅力を発表する作業からスタートします。今後は、産業遺産などの新たな観光資源を盛り込み、独創的な発想で旅行企画を行う予定です」と田辺先生は語っています。ゼミ長の鈴木政明くんは「田辺ゼミの特長は、実際の旅行プランのコンテストにも参加するところです。将来、旅行関係の仕事をしたい人には、きっと役立つと思います」とゼミをアピールしています。

PHOTO 2007

国際交流 クリスマスパーティー

2007年12月14日、国際交流クリスマスパーティーが地下自由学習室で開催され、本学学生、留学生、教職員が親睦を深めました。パーティーは立食形式で行われ、学生実行委員会による企画もあり、参加者はにぎやかな時をすごしました。



新会社法における 会計と計算書類

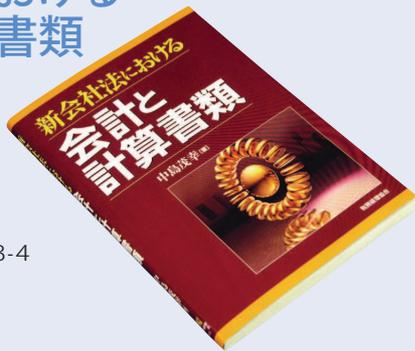
中島茂幸 著

2006年10月1日刊

税務経理協会

1,890円

ISBN 4-419-04803-4



2006年に施行された会社法は、商大法の中に含まれていた有限会社法など、会社にかかわる法律をまとめて新たに制定したもので、10年近い歳月をかけて進められてきた商事基本法大改正の中心となるものです。本書では、会社法の概要と、それに沿った会計、帳簿、財務諸表作成の基本ルールなどが体系的に解説されています。会社法の問題点などにもふれ、税務会計と税法分野を学ぶ上で最適なテキストです。

韓国の歴史

李景珉 監修

水野俊平 著

2007年9月20日刊

河出書房新社

1,890円

ISBN 978-4-309-22471-8



韓国で長年過ごした水野先生が、2年がかりで書き上げた韓国通史です。古代から現代までの韓国史の全体像をつかむことを第一に、朝鮮半島を中心とした諸国と周辺地域の歴史や、日韓交流史についてもふれられています。欄外の注釈、豊富な写真、簡潔な解説によって、入門書としてわかりやすさに重点が置かれた編集が特徴です。またハンディなサイズで資料としても使いやすくなっています。

PHOTO 2007

教員の中韓指導

2007年12月16日から24日にかけて、本学教員が中韓の交流協定校を訪れ、語学留学中の本学学生を現地で指導しました。



山東大学威海分校での講義風景です。本学の留学生の質問に対して、先生の丁寧な指導が印象に残りました。

中
China
玉

韓
Korea
玉



大田大学の「留学生修了セレモニー」で、パフォーマンスの出番を待つ本学の留学生たち。緊張した様子は見えません。

2008年度前期行事予定

4月 1日(火)・2日(水)	3・4年次前期履修登録
3日(木)	入学式
4日(金)・5日(土)	新入生ガイダンス/2年次前期履修登録
7日(月)	前期講義開始
8日(火)~11日(金)	1年次前期履修登録
5月10日(土)	海外語学留学生選抜試験
16日(金)	学園創立記念日(休校)
6月28日(土)	第1回オープンキャンパス
7月30日(水)	夏季休業開始
8月 4日(月)	第2回オープンキャンパス
27日(水)	海外語学留学生出発予定(中国・韓国)
9月16日(火)	夏季休業終了
17日(水)	2~4年次ガイダンス
17日(水)・18日(木)	4年次後期履修登録
18日(木)	1年次ガイダンス
19日(金)・20日(土)	3年次後期履修登録
22日(月)・24日(水)	2年次後期履修登録
25日(木)・26日(金)	1年次後期履修登録
27日(土)	大学祭
29日(月)	後期講義開始

編集後記

本学のキャンパスが札幌に開かれてから、今度の春で3回目の新入生を迎えることになります。この間に2度の海外留学プログラムが実施され、専門科目が開講されました。大学祭を始めさまざまな行事も充実してきました。次々にサークルも作られ、活発に動き始めました。本学の成長を記録しているこの学報は、まるで子供の記録を残すアルバムのようなのです。

なお、皆さんからの『売り込み記事』も大歓迎です。気軽に担当へ声をかけてください。